

水質調査及び対策調査表

添付資料4

施設概要	No. -	6-1					6-2					6-3					6-4					6-5					6-6						
		ダム直接	表海水	表流水	表流水	表流水	ダム直接	表海水	表流水	表流水	表流水	ダム直接	表海水	表流水	表流水	表流水	ダム直接	表海水	表流水	表流水	表流水	ダム直接	表海水	表流水	表流水	表流水	ダム直接	表海水	表流水	表流水			
浄水フロ－ A:凝集、B:沈降、C:急速ろ過、D:緩速ろ過、E:膜ろ過、F:粉末炭、G:活性炭、H:塩素注入、I:オゾン、J:生物処理、K:消毒のみ、L:除菌剤添加、M:アルカリ剤添加、N:曝気、O:黄土添加、P:pH	計画浄水量 (m <sup>3</sup> /日)	315,000	1,500,000	300,000	1,100,000	280,000	1,700,000	820,100	1,700,000	820,100	1,100,000	1,700,000	820,100	1,700,000	820,100	1,100,000	1,700,000	820,100	1,700,000	820,100	1,100,000	1,700,000	820,100	1,700,000	820,100	1,100,000	1,700,000	820,100	1,700,000	820,100			
	1日平均浄水量 (m <sup>3</sup> /日)	95,500	859,300	170,000	820,100	170,000	820,100	170,000	820,100	170,000	820,100	170,000	820,100	170,000	820,100	170,000	820,100	170,000	820,100	170,000	820,100	170,000	820,100	170,000	820,100	170,000	820,100	170,000	820,100	170,000			
	臭気																																
	カビ臭																																
	漂臭																																
	なまぐさ臭(藻類由来)																																
	なまぐさ臭(魚類産卵由来)																																
	土臭																																
	薬品臭																																
	油臭																																
	下水臭																																
	2 蒸気異常発生																																
	3 微小藻類の流下																																
	4 pH値 高 (凝集不良発生)																																
	5 低アルカリ度 (凝集不良発生)																																
6 低水温 (凝集不良発生)																																	
7 浮游酸素過飽和 (凝集不良発生)																																	
8 低濁度 (凝集不良発生)																																	
9 濁度値 高																																	
10 色度値 高																																	
11 マンガン値 高																																	
12 アンモニア態窒素 高																																	
13 トリハロメタン生成能 高																																	
14 農薬流入																																	
15 海水湧上による塩分上昇																																	
A 粉末活性炭投入																																	
B 粒状活性炭設備設置																																	
C オゾン+活性炭設備設置																																	
D 塩素注入率調整																																	
E 凝集剤注入率調整																																	
F 酸剤注入																																	
G アルカリ剤注入																																	
H フロキュレータ回転数調整																																	
I 取水停止																																	
J 取水調整																																	
K 選択取水 (取水口上下位置選択)																																	

内容 (アルファベットは対処方法を示す)

対処方法 (No. は内容)

恒常的、季節的な原水水質の問題点

水質調査及び対策調査表

添付資料4

No. -		6-1	6-2	6-3	6-4	6-5	6-6
容を示す) 1 内容 (アルファベットは対処方法)	L	複数水源の取水比率変更					
	M	ろ過速度調整					
	N	黄土注入					
	O	水源硫酸銅散布	2				
	P	水源曝気					
	Q	水路等壁面付着藻類の除去					
	R	ろ過池前の濾膜利添加				3(PAC)	
		突発的な臭気上昇	O				O
		ジェオスミン濃度上昇	O				O
		ZnIB濃度上昇					
突発的な原水水質の異常 対処方法 (No. は内容を示す)	A	粉末活性炭投入					
	B	粒状活性炭設備設置					
	C	オゾン+活性炭設備設置					
	D	塩素注入率調整					
	E	塩素剤注入率調整					
	F	酸剤注入					
	G	アルカリ剤注入					
	H	フロキュレータ回転数調整					
	I	取水停止					
	J	取水量調整					
K	選択取水	O				O	
L	複数水源の取水比率変更						
M	ろ過速度調整						
N	オイルフェンス常設						
O	吸着マット投入						
P	水源硫酸銅散布						
Q	ろ過池アンモニアサイト敷設						
R	流出物到達せず(対処せず)						
No. -		6-1	6-2	6-3	6-4	6-5	6-6

水質調査及び対策調査表

添付資料4

施設概要	No. -	6-7		6-8		7-1		7-2		7-3		7-4	
		表流水	表流水	表流水	表流水	ダム放流	ダム放流	ダム放流	ダム放流	ダム放流	ダム放流	ダム放流	ダム放流
<p>浄水フロ- A: 汚濁、B: 沈殿、C: 急凍ろ過、D: 細菌ろ過、E: 膜ろ過、F: 粉末炭、G: 活性炭、H: 塩素注入、I: オゾン、J: 生物処理、K: 消毒のろ、L: 融剤添加、M: アルカリ剤添加、N: 曝気、O: 黄土添加、P: pH</p> <p>計画浄水量 (m³/日) 1,265,000 1日平均浄水量 (m³/日) 823,500</p>	200,000	1,265,000	204,600	872,000	465,000	378,200	177,700	428,055	222,866	296,919			
	A-B-H-C	A-B-H-C	(F-)A-B-C-H	(F-)A-B-C-H	(F-)A-B-C-H	(F-)A-B-C-H							
	臭気	A, P (夏期)	A, Q	A	A	A							
	カビ臭	A, P (夏期)	A, Q		A (夏期)								
	薬臭	A, P (夏期)											
	なまぐさ臭 (藻類由来)												
	なまぐさ臭 (魚類産卵由来)												
	土臭												
	薬品臭												
	油臭												
	下水臭												
	藻類異常発生												
	微小藻類の湧下												
	pH値 高 (凝集不良発生)												
	低アルカリ度 (凝集不良発生)												
低水温 (凝集不良発生)													
溶存酸素過飽和 (凝集不良発生)													
低濁度 (凝集不良発生)													
濁度値 高													
色度値 高													
マンガン値 高													
アンモニウム態窒素 高													
トリハロメタン生成能 高													
農薬流入													
海水遡上による塩分上昇													
粉末活性炭投入	O	1	O	1, 14	O	1, 14	O	1, 2, 14	O	1	O	1, 14	
粒状活性炭設備設置													
オゾン+活性炭設備設置													
塩素注入率調整													
凝集剤注入率調整													
融剤注入	O		O	4 (凝集)	O	4 (凝集)	O	4 (凝集)	O	4 (凝集)	O	4 (凝集)	
アルカリ剤注入													
フロキュレータ回転数調整													
取水停止													
取水量調整													
選択取水 (取水口上下位置選択)													

内容 (アルファベットは対処方法を示す)

対処方法 (No. は内容)

恒常的、季節的な原水水質の問題点





水質障害及び対策調査表

添付資料4

No. -		8-1	8-2	9-1	9-2	9-3	9-4	L
内容を示す)	L	複数水源の取水比率変更						
	M	ろ過速度調整						
	N	貫土注入						
	O	水源除菌剤散布						
	P	水源曝気	O 1	O 1	O 1			
	Q	水路等壁面付着藻類の除去						
	R	ろ過地前の凝集剤添加						
	内容		O A		O A, J	O A, J	O A	
	1	ジェオスミン濃度上昇			O A, J (平17/8)	O A, J (平17/8 4.9ng/L)		1
		2MB濃度上昇						
	薬品臭(芳香臭等)	O A(平18/2) 芳香臭					O A(平17/4)	
	その他の臭気							
2	藻類異常発生							
3	濁度値 高(工事, 事故等)							
4	アンモニア態窒素値 急上昇							
5	上流にて藻類発生水の放流							
6	上流にて油の流出事故							
7	上流にて農薬流出事故							
8	薬品流出事故	O A(平16/11, 平17/12 フェノール)	O A(平16/6 トリクロロエチレン)					
9	工業品流出事故							
10	工場廃水流出事故							
A	粉末活性炭投入	O 1, 8	O 8	O 1	O 1		O 1	
B	粒状活性炭設備設置							
C	オゾン+活性炭設備設置							
D	塩素注入率調整							
E	凝集剤注入率調整							
F	酸剤注入							
G	アルカリ剤注入							
H	フロキユレータ回転数調整							
I	取水停止							
J	取水水量調整			O 1	O 1			
K	選択取水							
L	複数水源の取水比率変更							
M	ろ過速度調整							
N	オイルフェンス常設							
O	吸着マット投入							
P	水源除菌剤散布							
Q	ろ過池アンズサイト敷設							
R	流出物到達せず(対処せず)							
No. -		8-1	8-2	9-1	9-2	9-3	9-4	R

突発的な原水水質の異常

対処方法 (No. は内容を示す)



水質障害及び対策調査表

添付資料4

No. -		10-1	10-2	10-3	11-1	11-2	11-3
内容 を示す)	L	複数水源の取水比率変更					
	M	ろ過速度調整	O 2, 3				
	N	黄土注入					
	O	水源強制散布					
	P	水質曝気					
	Q	水路等壁面付着藻類の除去					
	R	ろ過池前の凝集剤添加					
	1	突発的な臭気上昇					
	2	ジェオスミン濃度上昇					
	3	2MB濃度上昇					
内容 (アルファベット は対処方法)	4	薬品臭(芳香臭等)					
	5	その他の臭気					
	6	薬類異常発生					
	7	濁度値 高(工事, 事故等)	O E(平18 500度以上 8件)				
	8	アンモニア樹液濃度 急上昇					
	9	上流にて藻類発生水の放流					
	10	上流にて油の流出事故	O A, I, O, R(平17 101件)	O N, O, R(平18 48件)	O A, I, O	O(平18/10)	O A, J, O(平17/9)
	A	上流にて農薬流出事故					O A, J(平16/7)
	B	薬品流出事故	O A, I, R(平17 5件)				O A, J(平16/7 展着剤)
	C	工業品流出事故					
内容 (No. は内容を示す)	D	工場排水流出事故					
	E	粉末活性剤投入	O 6, 8				
	F	粒状活性剤設備設置					
	G	オゾン+活性剤設備設置					
	H	塩素注入率調整					
	I	凝集剤注入率調整	O 3				
	J	酸剤注入					
	K	アルカリ剤注入					
	L	フロキュレータ回転数調整					
	M	取水停止	O 6, 8				
内容 (No. は内容を示す)	N	取水量調整					
	O	選択取水					
	P	複数水源の取水比率変更					
	Q	ろ過速度調整					
	R	オイルフェンス常設	O 6				
	1	吸着マット投入	O 6				
	2	水源強制散布					
	3	ろ過池アンズサイト敷設					
	4	流出物到達せず(対処せず)	O 6, 8	O 6			O 6
	5						
No. -		10-1	10-2	10-3	11-1	11-2	11-3

突発的な原水水質の異常



水質障害及び対策調査表

添付資料4

施設概要	No. -	No. -					14-2	
		12-1	12-2	12-3	13-1	14-1	14-2	
水源の種類	河川森林水	河川森林水	河川森林水	河川森林水	湖沼	森林水	森林水	
								河川森林水
浄水フロア A. 凝集, B. 沈降, C. 急速ろ過, D. 緩速ろ過, E. 膜ろ過, F. 粉末炭, G. 活性炭, H. 塩素注入, I. オゾン, J. 生物処理, K. 消毒のみ, L. 酸剤添加, M. アルカリ剤添加, N. 曝気, O. 貫土添加, P. pH	計画浄水量 (m³/日)	590,000	544,000	290,000	99,000	1,797,000	203,000	
	1日平均浄水量 (m³/日)	339,304	322,660	157,538	54,164	1,270,980	76,879	
内容 (アルファベットは対処方法を示す)	臭							
	カビ臭							
	藻臭							
	なまぐさ臭 (藻類由来)							
	なまぐさ臭 (魚類産卵由来)							
	土臭							
	薬品臭							
	油臭							
	下水臭							
	藻類異常発生							
	微小藻類の湧下							
	pH値 高 (凝集不良発生)							
	低アルカリ度 (凝集不良発生)							
	低水温 (凝集不良発生)							
	溶存酸素過飽和 (凝集不良発生)							
低濁度 (凝集不良発生)								
濁度値 高								
色度値 高								
マンガン値 高								
アンモニア態窒素 高								
トリハロメタン生成能 高								
農業流入								
海水漏上による塩分上昇								
A. 粉末活性炭投入								
B. 粒状活性炭設備設置								
C. オゾン+活性炭設備設置								
D. 塩素注入率調整								
E. 凝集剤注入率調整								
F. 酸剤注入								
G. アルカリ剤注入								
H. フロキュレータ回転数調整								
I. 取水停止								
J. 取水量調整								
K. 選択取水 (取水口上下位置選択)								
対処方法 (No. は内容)								

水質障害及び対策調査表

添付資料4

No. -		12-1	12-2	12-3	13-1	14-1	14-2	
容を示す)	L	複数水源の取水比率変更						
	M	ろ過速度調整						
	N	黄土注入						
	O	水源磁粉散布						
	P	水源曝気	O (水源保全)	O (水源保全)	O (水源保全)			
	Q	水路等壁面付着藻類の除去						
	R	ろ過池前の凝集剤添加						
		突発的な臭気上昇				O A, D, E		
		ジェオスミン濃度上昇				O A, D, E(平均16/9~10)		
		2MB濃度上昇						
1	薬品臭(芳香臭等)							
	その他の臭気							
2	藻類異常発生							
3	濁度値 高(工事、事故等)							
4	アンモニア態窒素値 急上昇							
5	上流にて藻類発生水の放流							
6	上流にて油の流出事故	O A, R	O A, R	O A, R			O A, C, O(1~数回/年)	
7	上流にて農薬流出事故							
8	薬品流出事故							
9	工業品流出事故							
10	工場废水流出事故							
A	粉末活性炭投入	O 6	O 6	O 6	O 1	O 6	O 6	
B	粒状活性炭設備設置							
C	オゾン+活性炭設備設置						O 6	
D	塩素注入率調整				O 1 (前塩素停止)			
E	凝集剤注入率調整				O 1			
F	酸剤注入							
G	アルカリ剤注入							
H	フロキエータ回転調整							
I	取水停止							
J	取水水量調整							
K	選択取水							
L	複数水源の取水比率変更							
M	ろ過速度調整							
N	オイルフェンス常設							
O	吸着マット投入						O 6(油吸着剤)	
P	水源磁粉散布							
Q	ろ過池アンダースライト敷設							
R	流出物到達せず(対処せず)	O 6	O 6	O 6				
No. -		12-1	12-2	12-3	13-1	14-1	14-2	

内容 (アルファベット)

対処方法 (No. は内容を示す)

突発的な原水水質の異常

水質障害及び対策調査表

資料4

No. -		14-3	15-1	16-1	16-2	17-1	17-2	
L	採取水源の取水比率変更							L
M	ろ過速度調整							M
N	質土注入							N
O	水源確認網散布							O
P	水源曝気							P
Q	水路等型面付着藻類の除去							Q
R	ろ過池前の凝集剤添加	O						R
	突発的な臭気上昇		O	C	O	C		
1	ジェオスミン濃度上昇		O	C(平17/8 250ng/L)	O	C(平17/9 320ng/L)		1
	2MB濃度上昇							
	薬品臭(芳香臭等)							
	その他の臭気							
2	藻類異常発生							2
3	濁度値 高(工事, 事故等)							3
4	アンモニア態窒素値 急上昇							4
5	上流にて藻類発生水の放流							5
6	上流にて油の流出事故	O	A, C, O(1~数回/年)	O	N, O	O	A, I, J	6
7	上流にて農薬流出事故							7
8	薬品流出事故							8
9	工業品流出事故							9
10	工場廃水流出事故							10
A	粉末活性炭投入	O	6			O	6	A
B	粉状活性炭設備設置							B
C	オゾン+活性炭設備設置	O	6	O	1	O	1	C
D	塩素注入率調整							D
E	凝集剤注入率調整							E
F	酸剤注入							F
G	アルカリ剤注入							G
H	フロキュレータ回転数調整							H
I	取水停止					O	6	I
J	取水量調整					O	6	J
K	選択取水							K
L	採取水源の取水比率変更							L
M	ろ過速度調整							M
N	オイルフェンス常設			O	6	O	6	N
O	吸着マット投入	O	6(油吸着剤)	O	6(吸着剤)	O	6(吸着剤)	O
P	水源確認網散布							P
Q	ろ過池アンモニアサイト敷設							Q
R	流出物到達せず(対処せず)							R
No. -		14-3	15-1	16-1	16-2	17-1	17-2	

容を示す)

内容 (アルファベットは対処方法)

対処方法 (No. は内容を示す)

突発的な原水水質の異常

水質障害及び対策調査表

資料4

施設概要	No. -	17-3		17-4		18-1		18-2		18-3		18-4	
		水源の種類	表流水(本田川)、広島県より沈澱処理水を受水	表流水(本田川)ダム直接放流(土師ダム)	浅井戸	浅井戸	浅井戸	浅井戸	浅井戸	浅井戸	伏流水		
浄水フロ- A 凝集、B 沈澱、C 急速ろ過、D 緩速ろ過、E 膜ろ過、F 粉末炭、G 粉末活性炭、H 活性炭注入、I ナノ、J 生物処理、K 消毒のみ、L 酸剤添加、M アルカリ剤添加、N 曝気、O 質工添加、PpH													
	計画浄水量 (m <sup>3</sup> /日)	30,000	216,000	10,000	12,000	8,000	18,800						
1日平均浄水量 (m <sup>3</sup> /日)		16,482	144,577	8,640	9,250	6,788	9,034						
内容 (アルファベットは対処方法を示す)	臭気	O	D, J, M	O	A								
	カビ臭			O	A(夏期)								
	藻臭	O	D, J, M(夏期)										
	なまぐさ臭(藻類由来)												
	なまぐさ臭(魚類産卵由来)												
	土臭												
	薬品臭												
	油臭												
	下水臭												
	藻類異常発生	2											
	微小藻類の湧下	3											
	pH値 高 (凝集不良発生)	4											
	低アルカリ度 (凝集不良発生)	5											
	低水温 (凝集不良発生)	6											
	溶存酸素過飽和 (凝集不良発生)	7											
低濁度 (凝集不良発生)	8												
濁度値 高	9												
色度値 高	10												
マンガニン値 高	11												
アンモニア態窒素 高	12												
トリハロメタン生成能 高	13												
農薬流入	14												
海水運上による塩分上昇	15												
粉未活性炭投入	A			O	1								
粉状活性炭設備設置	B												
オゾン+活性炭設備設置	C												
培養注入率調整	D	O	1										
凝集剤注入率調整	E												
酸剤注入	F												
アルカリ剤注入	G												
フロキュレータ回転数調整	H												
取水停止	I												
取水調整	J	O	1										
選択取水(取水口上下位選択)	K												
対処方法 (No. は内容)													

水質調査及び対策調査表

資料4

No. -		17-3	17-4	18-1	18-2	18-3	18-4
L	植物水源の取水比率変更						
M	ろ過速度調整	○					
N	異土注入						
O	水源種類転換						
P	水源曝気						
Q	水塔等壁面付着薬類の除去						
R	ろ過池前の凝集剤添加						
突発的な臭気上昇							
シエオスミン濃度上昇							
2MB濃度上昇							
薬品臭(芳香臭等)							
その他の臭気							
1	濃縮異常発生						
2	濁度値高(工事、事故等)						
3	アンモニア態窒素値 急上昇						
4	上流にて薬類発生水の放流						
5	上流にて油の流出事故	○	A				
6	上流にて農薬流出事故						
7	薬品流出事故						
8	工業品流出事故	○	A(アスファルト)				
9	工場排水流出事故						
10	粉末活性炭投入	○	6, 9				
A	粉状活性炭設備設置						
B	オゾン+活性炭設備設置						
C	活性炭注入率調整						
D	凝集剤注入率調整						
E	融剤注入						
F	アルカリ剤注入						
G	プロキレータ回転数調整						
H	取水停止						
I	取水水量調整	○	6				
J	選抜取水						
K	植物水源の取水比率変更						
L	ろ過速度調整	○	6				
M	オイルフェンス施設	○	6				
N	吸着マット投入						
O	水質種類転換						
P	ろ過池アンモニアサイト敷設						
Q	流出物到達せず(対処せず)						
R							
No. -		17-3	17-4	18-1	18-2	18-3	18-4

容を示す)

内容(アルファベットは対処方法)

対処方法 (No. は内容を示す)

突発的な原水水質の異常

水質障害及び対策調査表

資料4

No. -	19-1		19-2		19-3		20-1		20-2		20-3	
	水源の種類	ダム直接 表流水	ダム直接 伏流水	ダム直接 伏流水	表流水	ダム直接	伏流水、表流水	表流水、ダム直接				
施設概要	湧水フロ一 A:凝集、B:沈殿、C:急速ろ過、D:緩速ろ過、 E:脱臭、F:粉末炭、G:活性炭、H:塩素注入、 I:紫外線、J:生物処理、K:消毒のみ、 L:酸剤添加、M:アルカリ剤添加、 N:曝気、O:黄土添加、P:pH	計画浄水量 (m <sup>3</sup> /日)	86,000	34,000	2,200	7,800	41,000	255,200				
		1日平均浄水量 (m <sup>3</sup> /日)	42,568	19,112	1,817	5,386	21,276	138,923				
内容 (アルファベットは対策方法を示す)	臭気	O	A (夏期、晴天連続期)		O	A、J、L (夏期、晴天連続期)						
	カビ臭	O	A (夏期、晴天連続期)		O	A、J、L (夏期、晴天連続期)						
	藻臭											
	なまぐさ臭 (藻類由来)											
	なまぐさ臭 (魚類産卵由来)											
	土臭											
	薬品臭											
	油臭											
	下水臭											
	藻類異常発生											
	微小藻類の流下											
	pH値 高 (凝集不良発生)											
	低アルカリ度 (凝集不良発生)											
	低水温 (凝集不良発生)											
	活性酸素過剰 (凝集不良発生)											
低濁度 (凝集不良発生)												
濁度値 高												
色度値 高												
マンガン値 高												
アンモニウム態窒素 高												
トリハロメタン生成能 高												
農薬流入												
海水湖上による塩分上昇												
初末活性炭投入	O	1			O	1						
粒状活性炭設備設置												
オゾン+活性炭設備設置												
塩素注入率調整												
凝集剤注入率調整												
酸剤注入												
アルカリ剤注入												
プロキユレータ回転数調整												
取水停止												
取水量調整												
選択取水 (取水口上下位置選択)												

恒常的、季節的な原水水質の問題点

対策方法 (No. は内)

水質障害及び対策調査表

資料4

No. -		19-1	19-2	19-3	20-1	20-2	20-3
L	冷却水源の取水比率変更			O			
M	ろ過速度調整						
N	濁土注入						
O	水源硫酸銅散布						
P	水源曝気						
Q	水絡等壁面付着藻類の除去						
R	ろ過池前の凝集剤添加						O 6 (PAC)異常時
突発的な臭気上昇							
1							
	ジェオスミン濃度上昇						
	2MB濃度上昇						
	薬品臭(芳香臭等)						
	その他の臭気						
2	藻類異常発生				O P(平11秋 フラリラギア)		
3	濁度値高(工事,事故等)						
4	アンモニア態窒素値急上昇					O L(平17/8, 11, 平18/4)	
5	上流にて藻類発生水の放流						
6	上流にて油の流出事故	O N,R					O L(平17/2, 4, 11, 平18/2, 8) N(平14/4, 平15/2, 6)
7	上流にて農薬流出事故						
8	製品流出事故						
9	工業品流出事故			O	L, N(平15/8 電柱トランス落下)		
10	工場排水流出事故						
突発的な原水水質の異常							
A 粉末活性炭投入							
B 粘状活性炭設備設置							
C オゾン+活性炭設備設置							
D 培養剤注入率調整							
E 凝集剤注入率調整							
F 酸剤注入							
G アルカリ剤注入							
H プロキユレータ回転数調整							
I 取水停止							
J 取水量調整							
K 選択取水							
L	冷却水源の取水比率変更			O		O 3, 6	
M	ろ過速度調整						
N	オイルフェンス常設	O 6					O 6
O	吸着マット投入						
P	水源硫酸銅散布						
Q	ろ過池アンモニアサイト敷設				O 2		
R	流出物到達せず(対処せず)	O 6	O 6				
No. -		19-1	19-2	19-3	20-1	20-2	20-3

水質障害及び対策調査表

資料4

施設概要	No. -	20-4		20-5		20-6		21-1		21-2		22-1		
		ダム直接	ダム直接	ダム直接	ダム直接	ダム直接	ダム直接	ダム直接	ダム直接	ダム直接	ダム直接	ダム直接	ダム直接	ダム直接
水源の種類	浄水フロ- A 凝集、B 沈澱、C 急速ろ過、D 緩速ろ過、 E 活性炭、F 粉末炭、G 粒状炭、H 塩素注入、 I ソーラ、J 生物処理、K 消毒のみ、 L 酸剤添加、M アルカリ剤添加、 N 曝気、O 黄土添加、P pH	(F)→H→A→B→H→C	J→(F)→H→A→B→H→C→H	F→(J)→H→A→B→H→C→H	A→B→H→C	H→(F)→A→B→H→C→H	(F)→A→B→H→C→H							
		計画浄水量 (m <sup>3</sup> /日)	24,000	141,000	300,000	199,000	122,000	155,000						
		1日平均浄水量 (m <sup>3</sup> /日)	18,388	60,749	105,270	88,733	61,000	82,087						
内容 (アルファベットは対処方法を示す)	臭気													
	カビ臭	O	A, K(夏期)	O	A, O(夏期)	O	A, D, L(夏期)	O	A, J(10月初)	O	C(春先)	O	A(7~9月)	
	薬臭	O	A, K(夏期)	O	A, O(夏期)	O	A, D, L(夏期)	O	A, J(10月初)	O	C(春先)	O	A(7~9月)	
	なまぐさ臭(藻類由来)													
	なまぐさ臭(魚類産卵由来)													
	土臭													
	薬品臭													
	油臭													
	下水臭													
	藻類異常発生	O	K(夏期)	O	O(通年)	O	D, L							
	微小藻類の流下													
	pH値 高 (凝集不良発生)													
	低アルカリ度 (凝集不良発生)													
	低水温 (凝集不良発生)													
	活性酸素過飽和 (凝集不良発生)													
低濁度 (凝集不良発生)														
濁度値 高	O	K(台風等)	O	L(大雨)										
色度値 高														
マンガン値 高														
アンモニア態窒素 高														
トリハロメタン生成能 高														
農薬流入														
海水面上による塩分上昇														
粉未活性炭投入	O	1	O	1	O	1, 13			1	O		1		
粒状活性炭設備設置														
オゾン+活性炭設備設置														
塩素注入率調整														
凝集剤注入率調整														
酸剤注入														
アルカリ剤注入														
フロキョレータ回転数調整														
取水停止														
取水量調整														
選択取水 (取水口上下位置選択)	O	1, 2, 9							1			3		

対処方法 (No. は内容)

恒常的、季節的な原水水質の問題点



水質障害及び対策調査表

資料4

No. -	20-6		20-5		20-4		20-6		21-1		21-2		22-1	
		O												
L	極数水源の取水比率変更													
M	ろ過速度調整													
N	負圧注入													
O	水源磁粉分散		O	1.2										
P	水源曝気		O	1.2										
Q	水質等監視面付着藻類の除去													
R	ろ過池前の凝集剤添加													
突発的な原水水質の異常														
1	突発的な臭気上昇	O			A, K									
	ジェオスミン濃度上昇	O			A, K(平15/8 19ng/L)									
	2MB濃度上昇													
	薬品臭(芳香臭等)													
	その他の臭気													
2	藻類異常発生		O	L(平14/4)										
3	濁度値高(工事, 事故等)	O			E(平17/9 140度 台風)									
4	アンモニア態窒素値急上昇													
5	上流にて藻類発生水の放流													
6	上流にて油の流出事故		O	I(平15/5)										
7	上流にて農薬流出事故													
8	薬品流出事故													
9	工業品流出事故		O											
10	工場排水流出事故													
A	粉末活性炭投入	O			1									
B	粒状活性炭設備設置													
C	オゾン+活性炭設備設置													
D	増養注入率調整													
E	凝集剤注入率調整	O			3									
F	酸剤注入													
G	アルカリ剤注入													
H	フロキュレータ回転数調整													
I	取水停止													
J	取水量調整		O											
K	選択取水				1									
L	極数水源の取水比率変更		O	6										
M	ろ過速度調整													
N	オイルフェンス常設		O	6										
O	吸着マット投入		O	6										
P	水源磁粉分散													
Q	ろ過池アンモニアサイト敷設													
R	流出物到達せず(対処せず)													
突発的な原水水質の異常														
内容 (アルファベットは対処方法)														
対処方法 (No. は内容を示す)														
No. -														
20-4														
20-5														
20-6														
21-1														
21-2														
22-1														

水質障害及び対策調査表

資料4

施設概要	No. -	22-2			22-3			22-4			23-1			24-1			24-2			
		水源の種類	表流水 (上流ダムあり)	表流水 (上流ダムあり)	表流水 (上流ダムあり)	表流水 (上流ダムあり)	表流水 (上流ダムあり)	表流水 (上流ダムあり)	表流水 (上流ダムあり)	表流水 (上流ダムあり)	表流水 (上流ダムあり)	表流水 (上流ダムあり)	表流水 (上流ダムあり)	表流水 (上流ダムあり)	表流水 (上流ダムあり)	表流水 (上流ダムあり)	表流水 (上流ダムあり)	表流水 (上流ダムあり)	表流水 (上流ダムあり)	
浄水フロ- A 凝集 B 沈澱 C 急速ろ過 D 緩速ろ過 E 膜ろ過 F 粉砕機 G 砂状炭 H 活性炭注入 I オンナ+生物処理 J 消毒薬のみ L 懸濁液加 M アルカリ剤添加 N 曝気 O 黄土添加 P pH	計画浄水量 (m <sup>3</sup> /日)	650,000	90,000	15,600	160,000	135,000	80,000	442,066	5,037	9,552	122,986	105,817	40,440	105,817	105,817	40,440	105,817	105,817	40,440	
	1日平均浄水量 (m <sup>3</sup> /日)	442,066	5,037	9,552	122,986	105,817	40,440	442,066	5,037	9,552	122,986	105,817	40,440	442,066	105,817	40,440	442,066	105,817	40,440	
内容 (アルファベットは対処方法を示す)	臭気	○ A(7~9月)	○ A(8月)	○ A(7~10月)	○ A(7~10月)	○ A(7~10月)	○ A(7~10月)	○ A(7~10月)	○ A(7~10月)	○ A(7~10月)	○ A(7~10月)	○ A(7~10月)	○ A(7~10月)	○ A(7~10月)	○ A(7~10月)	○ A(7~10月)	○ A(7~10月)	○ A(7~10月)	○ A(7~10月)	
	カビ臭	○ A(7~9月)	○ A(8月)	○ A(7~10月)	○ A(7~10月)	○ A(7~10月)	○ A(7~10月)	○ A(7~9月)	○ A(8月)	○ A(7~10月)	○ A(7~10月)	○ A(7~10月)	○ A(7~10月)	○ A(7~10月)	○ A(7~10月)	○ A(7~10月)	○ A(7~10月)	○ A(7~10月)	○ A(7~10月)	
	なまぐさ臭 (藻類由来)	○ A(7~9月)																		
	なまぐさ臭 (魚類産卵由来)																			
	土臭		○ A(降雨後)																	
	薬品臭																			
	油臭	○ A(融雪期)																		
	下水臭	○ A(ダム液濁)																		
	蒸気発生																			
	微小藻類の湧下																			
	pH値 高 (凝集不良発生)																			
	低アルカリ度 (凝集不良発生)																			
	低水温 (凝集不良発生)																			
	溶存酸素過飽和 (凝集不良発生)																			
	低濁度 (凝集不良発生)																			
濁度値 高																				
色度値 高																				
マンガン値 高	○ D(ダム液濁)																			
アンモニウム態窒素 高	○ D(ダム液濁)																			
トリハロメタン生成能 高																				
農薬流入																				
海水面上による塩分上昇																				
粉未活性炭投入	○ 1	○ 1	○ 1	○ 1	○ 1	○ 1	○ 1	○ 1	○ 1	○ 1	○ 1	○ 1	○ 1	○ 1	○ 1	○ 1	○ 1	○ 1	○ 1	
粒状活性炭設備設置																				
オンナ+活性炭設備設置																				
塩素注入率調整	○ 11, 12	○ 11, 12	○ 11, 12	○ 11, 12	○ 11, 12	○ 11, 12	○ 11, 12	○ 11, 12	○ 11, 12	○ 11, 12	○ 11, 12	○ 11, 12	○ 11, 12	○ 11, 12	○ 11, 12	○ 11, 12	○ 11, 12	○ 11, 12	○ 11, 12	
凝集剤注入率調整																				
酸剤注入																				
アルカリ剤注入																				
フロキュレータ回転数調整																				
取水停止																				
取水量調整																				
選択取水 (取水口上下位置選択)																				
恒常的、季節的な原水水質の問題点																				
対処方法 (No. は内容)																				

水質障害及び対策調査表

資料4

No. -		22-2	22-3	22-4	23-1	24-1	24-2	
L	植敷水類の取水比率変更							
M	ろ過速度調整							
N	異土注入							
O	水質試験機散布							
P	水質試験機							
Q	水質等監視面付着薬類の除去							
R	ろ過池前の凝集剤添加							
突発的な臭気上昇								
ジェオスミン濃度上昇								
2MIB濃度上昇								
薬品臭(芳香臭等)								
その他の臭気								
2	藻類異常発生							
3	濁度値 高(工事、事故等)	O						
4	アンモニア態窒素値 急上昇							
5	上流にて藻類発生水の放流							
6	上流にて油の流出事故	O						
7	上流にて農薬流出事故							
8	薬品流出事故							
9	工業品流出事故							
10	工場排水流出事故							
A	粉末活性炭投入	O		9				
B	粉状活性炭設備設置							
C	オゾン+活性炭設備設置							
D	増集注入率調整							
E	凝集剤注入率調整							
F	酸剤注入							
G	アルカリ剤注入							
H	フロキュレータ回転数調整							
I	取水停止							
J	取水量調整	O		9				
K	選抜取水							
L	植敷水類の取水比率変更							
M	ろ過速度調整							
N	オイルフェンス常設							
O	吸着マット投入							
P	水質試験機散布							
Q	ろ過池アンストライク調整							
R	流出物到達せず(対処せず)	O						
No. -		22-2	22-3	22-4	23-1	24-1	24-2	

容を示す)

内容(アルファベットは対処方法)

対処方法 (No. は内容を示す)

突発的な原水水質の異常

水質障害及び対策調査表

施設概要	No. -		25-1		26-1		27-1		28-1		29-1		30-1	
	水源の種類	河川表流水、上流ダム	ダム湖	表流水(吉井川)	ダム湖	表流水(吉井川)	表流水(吉井川)	表流水(吉井川)	表流水(吉井川)	表流水(吉井川)	ダム直接(弥栄ダム)	表流水(筑後川)	表流水(筑後川)	表流水(筑後川)
浄水フロ- A殺菌 B沈澱 C急速ろ過 D緩速ろ過 E膜ろ過 F粉末炭 G軟状炭 H活性炭 イオン交換樹脂 J生物処理 K海塩のみ L酸剤添加 Mアルカリ剤添加 N曝気 O富士添加 PpH	計画浄水量 (m <sup>3</sup> /日)	79,000	108,000	45,387	108,000	45,387	30,000	56,000	25,600					
	1日平均浄水量 (m <sup>3</sup> /日)	34,852	44,017	44,951	44,017	44,951	16,646	31,474	15,573					
	臭気	B(夏期, 5~10月)	B, K, O	A(5-翌1月)	A(5-翌1月)	A(5-翌1月)	A(5-翌1月)	A(5-10月)	A					
	カビ臭	B(夏期, 5~10月)	B, K, O	A(5-翌1月)	A(5-翌1月)	A(5-翌1月)	A(5-10月)	A(5-10月)						
	薬臭													
	なまぐさ臭(藻類由来)													
	なまぐさ臭(魚類産卵由来)													
	土臭													
	薬品臭													
	油臭													
	下水臭													
	藻類異常発生	O	P											
	微小藻類の流下													
	pH値 高 (凝集不良発生)	O	F(特に冬期上昇傾向)											
	低アルカリ度 (凝集不良発生)													
低水温 (凝集不良発生)														
溶存酸素過飽和 (凝集不良発生)														
低濁度 (凝集不良発生)														
濁度値 高														
色度値 高														
マンガン値 高														
アンモニウム態窒素 高														
トリハロメタン生成能 高														
懸濁流入	O	B(5~8月基準値以下)												
海水湖上による塩分上昇														
粉末活性炭投入														
粒状活性炭設備設置	O	1, 14												
オゾン+活性炭設備設置														
塩素注入率調整														
凝集剤注入率調整														
酸剤注入	O	4(硫酸ガス)												
アルカリ剤注入														
フロキュレータ回転数調整														
取水停止														
取水率調整														
選択取水(取水口上下位置選択)	O	1												

内容 (アルファベットは対処方法を示す)

対処方法 (No. は内容)

恒常的、季節的な原水水質の問題点